

項目	担当分掌	重点目標	関係者評価	具体的方策 ○数字は学校関係者評価項目	自己評価		年度末の評価結果と今後の課題
					評価	目標達成度%	
1 学習指導	教務	12年間の指導内容の系統性確立		各教科等の年間指導計画案モデル案の作成	A	100	年間9回の作成部会を通して、本校入学から卒業までの12年間の縦のつながりを意識したモデル案を作成した。活用の啓発が今後の課題である。
		授業の改善	①	保護者アンケートの実施	A		2学期末第2回目の保護者アンケートを実施し、年間2回のアンケートを集約した。アンケートの回収率が高まった。アンケート結果を全教員へ公開し、日々の取組について改善するよう啓発した。次年度も同様に取り組む。
2 健康安全	保健体育	体力向上と特色ある体力づくり		各部の特性を生かした体力づくり活動の計画実施	A	100	中学部では新しいトレーニングを2種目設定し実施できた。高等部2・3学年の合同体育を実施し、習熟度別に4グループでサーキットトレーニング等ができた。第34回愛知県体力づくり優良校顕彰を受けた。(2月2日)
		健康と安全を守る教育の推進		疾病予防と事故防止の啓発活動の実施	A		事故発生時の緊急対応の現職研修を実施できた。また、担任から配慮を要する児童生徒の説明をすることで児童生徒の状況を見直すよい機会となった。ヒヤリハット事例の収集とともに本年度までの事故報告書の回覧ができ、全職員に事故防止を啓発することができた。
	生徒指導	防犯・防災体制の充実		不審者対応の集合訓練の実施、保護者引き渡し訓練の実施	A		初めての行事として、不審者情報対応訓練、保護者への引き渡し訓練を行った。保護者会後の日程で保護者の参集が集中することはあったが、引き渡しへの流れが確認できた。次年度は、通常授業日に設定して行いたい。
			③	防災備品の整備、充実 激甚災害時における福祉避難所の役割確認	A		岡崎市の防災危機管理課と打合せの会議を2回もち、福祉避難所としての役割を確認し、学校からの要望を伝えた。ヘルメット、ライト、携帯拡声器、体温保護シート等、防災備品の必要分を購入した。
	給食	食を通じた勤労観の育成		給食だよりの改善	A		給食センターや配膳の様子など、いろいろな人が働く場面を取り上げた。生徒の清掃活動については紙面の関係で今年度は取り上げられなかったので次年度に回したい。
				健康な食生活についての理解	A		小学部の保護者を対象に給食説明会を行った。事前の検討で見学会はできなかったが、保護者の悩みや質問にも栄養士からアドバイスとして返答することができ、有意義な会になった。次年度は小1と転校生を対象として行いたい。
3 キャリア教育	進路指導	進路指導の充実と啓発		高等学校でのインターンシップ実施	A	83	年間で7校で8名の生徒が就労体験を行った。生徒や高校担当者等を対象にしたアンケートでは、「勉強になった」「いい経験だった」といった意見が多かった。初めての試みで外部との連携の難しさもあったが、大きな問題なく実施することができた。
				就労体験可能な企業の開拓と学校公開(企業)の実施	A		年間3回の学校公開(企業・福祉施設等)を実施した。プレゼン資料を活用した概要説明や講演会、学校見学、情報交換会などを実施し、39社(施設・関係機関)65名の出席があった。
				進路の手引(保護者用)の作成	B		高等部の実習について次年度も継続して検討し、内容が固まり次第、保護者向け資料の作成に取りかかる。進路の手引の追加資料で「進路指導(懇談)スケジュール」を作成した。次年度から活用し、保護者と連携しながら進路指導を進めていきたい。
4 教職員の資質向上	研修	知的障害養護学校としての専門性の向上	①	月1回の校内研究と年4回の推進委員会の実施	A	100	各部のテーマに基づいて研究を進めた。研究を進める中で、教員一人一人の専門性も高まった。授業実践発表会当日には各部とも公開授業を行った。
	教育情報			情報機器の操作スキル向上 情報部マニュアルの作成	A		マニュアルを活用して、各係の仕事を進めることができた。来年度は、変更があったところは迅速に変更し、改善をしていきたい。
	自立活動			AAC機器活用校内研修会の開催	A		ATACカンファレンスでの内容を校内でも発表した。
				自立活動ライブラリーの充実と活用	A		自作の教材・教具展示会を8月と1月の2回実施した。各展示会で40点以上の出展があり、多くの職員が見学をした。教材・教具の一部は自立活動室に保管し、職員が活用しているものもある。
5 開かれた学校づくり	総務	情報発信の推進		学校だよりの改善	A	100	内容やレイアウトを工夫して、分かりやすい学校だよりを発行できた。年4回発行し、本校の教育活動を発信することができた。
	教育情報			学校ホームページの更新	A		緊急時の情報発信ができるようにトップページを改善した。来年度は動きのあるトップページにリニューアルし、より魅力あるホームページにしたい。また、行事写真の表示システムの改善を行い、より多くの機器で写真を閲覧できるようにしたい。
	図書		②	校内掲示の整備	A		写真の掲示、掲示物の充実を重点的に行った。各部の掲示板の中身が充実してきた。
				近隣施設等での作品展示実施	A		ハウスプラザで年に2回、信用金庫3店での作品展示を実施した。児童生徒の活動を地域の方に知っていただくことができた。
6 教育的支援とセンター的役割	研修	センター的役割の推進と充実	①	授業実践発表会の実施	A	100	111名の先生方が参加された。講演会も各部の発表も大変好評で、勉強になった、感激した、またこのような会に参加したい等の感想をいただいた。
	教育支援	地域からの特別支援教育相談の充実		障害特性や社会資源・制度の活用に関する情報提供	A		地域の支援体制データの充実を図り、相談活動に役立てることができた。高等学校関係者のニーズに応えられるように情報収集が課題。
7 交流及び共同学習	教育支援	学校間交流及び居住地交流の推進		交流相手校への連携と啓発活動 保護者に対する居住地交流の啓発	A	100	学校間交流では各部ともに実施することができ、互いの理解を進めることができた。小中学部の居住地交流では、居住地の同世代の子供たちと共に活動し、ふれ合うことができた。
総合評価 目標達成度						97.6	改善課題についてはほぼ解決できた。モデル案作成、保護者アンケート、授業実践発表会から教育課題が明確になったことについては、来年度の課題としたい。地域に根ざした学校としての取組や防災に関する具体的な行動計画など、創意工夫をし検討していく課題が明確になった。3年目を終え、作り上げてきた学校の質をより高めていきたい。

学校関係者評価を実施した主な評価項目	①知的障害養護学校としての授業力向上	②校内環境整備と情報発信	③防災体制の整備
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の保護者アンケートを実施し、集約した。アンケートの回収率が高まった。アンケート結果を全教員へ公開し、日々の取組について、より一層児童生徒一人一人を生かす工夫に努めたい。 ・研究は各部のテーマに基づいて進めた。研究を進める中で、教員一人一人の専門性も高まった。 ・授業実践発表会当日には各部とも公開授業を行った。111名の先生方が参加された。講演会も各部の発表も大変好評で、勉強になった、感激した、またこのような会に参加したい等の感想をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の掲示、掲示物の充実を重点的に行った。各部の掲示板の中身が充実してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市の防災危機管理課と打合せの会議を2回もち、福祉避難所としての役割を確認し、学校からの要望を伝えた。ヘルメット、ライト、携帯拡声器、体温保護シート等、防災備品の必要分を購入した。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの3年間の授業実践を基礎に、今後は小中高の一貫性やキャリア教育の視点をさらに深めて、実践を積んでいく。 ・生活自立、社会自立、職業自立を推進するための教育課程を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に見てもらうための掲示なのかを明確にすること。児童生徒が触れることのできる掲示物や掲示の仕方を企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震防災規程、激甚災害時初動活動マニュアルを見直す。 ・児童生徒の地区別安否確認システムを構築する。 ・地区自治会（緑丘学区）との連携を進める。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目になり、開校当初よりも学校の環境も含め、落ち着いてきた感じが随所で見受けられる。先生方も自信をもって指導している。 ・楽しそうに活動している。教員が授業力向上に向けて、努力している姿がよく分かった。 ・年齢が上がるごとに体格もよくなり、難しい面も出てくるが、自分の考えを表現できるようになり、社会に出て自分のことができるよう、より一人一人に語りかけていきたい。 ・その子の学習能力や行動に対する適正評価ができていているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに学校の活動について発信するためにホームページだけでなく、ブログ、フェイスブックなどの方法も考えてはどうか。 ・教室も含めて、児童生徒がさらに喜びを感じられるような配慮があるとよい。 ・児童生徒の成長の過程が分かる掲示も考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の学区の防災訓練に参画してもらいたい。（福祉避難所として） ・青年の家、学校、JA、その他様々な施設と学区との連携を図った、地域での訓練に取り組みたい。 ・民間は地震だけでなく、風水害など避難情報・勧告などが出た場合の対策はできている。参考にしたい。 ・学校からも情報発信ができる方法を考えたい。 ・地元消防団を活用してもらいたい。（不明児童生徒の捜索も含めて）
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<p>（構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員 4名、PTA会長 1名 ・校長、教頭、事務長、小学部・中学部・高等部主事 7名 合計 12名 <p>（評価時期）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月6日…学校評価委員会にて、今年度の自己評価を実施した。 ・3月5日…学校関係者評価委員会を開催し、自己評価について説明をした後、関係者による評価を実施した。 		